

羽村市議会議員

とみまつ たかし

富

松

崇

活動報告

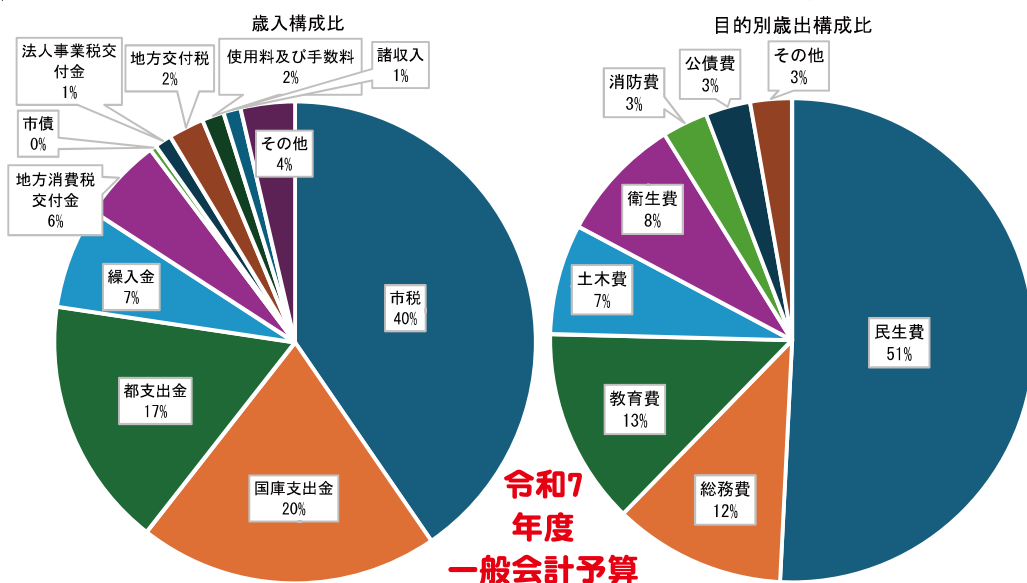


令和7年5月に開催されました臨時会において、市議会議長を退任いたしました。これからの後期二年間は議員のひとりとして、議場での一般質問や議案質疑など、引き続き市の重要な方針や施策を決定する議決機関として、また、市の施策をチェックする監視機関として、しっかりと議会の役割を果たしてまいります。

3月定例会にて「令和7年度予算」を賛成多数で可決

令和7年度一般会計予算は260億2,900万円と、3年連続で過去最大を更新する規模となりました。

依然として厳しい財政状況の中、「子供たちへの投資」「市民の安心・安全対策、地域の強靱化対策への投資」「行政のデジタル化への投資」の次代につながる「三つの投資」を中心に予算化されており、賛成多数で可決されました。引き続き、将来を見据えた持続可能な街づくりを要望してまいります。



市道の補修工事



施工前

施工後

地元の方から、市道のアスファルトが剥がれていて転倒してしまったと相談をいただきました。すぐに担当部署へ報告・補修工事の要望をしました。その後、迅速に補修工事を実施していただきました。

【プロフィール】

- 昭和44年5月15日生まれ（56歳）
妻と3女、孫2人
- 村野小鳩幼稚園、栄小学校
羽村第二中学校 卒業
都立 武蔵村山東高等学校 卒業
専門学校 東京テクニカル
カレッジ建築科 卒業
- 現 自由民主党羽村総支部 総支部長
羽村市防衛協会 会長
元 羽村市商工会青年部 部長
東京都商工会青年部連合会 副会長



長女 作

【議会】

- 平成29年 5月 経済委員会委員長
- 令和元年 4月 議会運営委員会委員長
- 令和 3年 5月 羽村市議会 副議長
- 令和 5年 5月 羽村市議会 議長
- 令和 7年 5月 会派 新政会 会長

とみまつたかし後援会

〒205-0014 東京都羽村市羽東2-3-6

TEL : 042-554-0357

E-mail : takashi@tomimatsu.co.jp

公式ウェブサイト : <http://ttomimatsu.com>

公共建築物の修繕について

質問 中央館の天井が崩れている状況だと聞いている。今後の修繕の予定を伺う。

市長 平成2年度、平成14年度に屋上防水改修工事を実施してきたが、数年前に2階集会室の天井部分に2か所の雨漏りを発見し、応急的な修繕を実施した。近時において雨漏りの状況が急激に悪化したことから、早急な対応が必要な状況となっている。現在、専門事業者と工法や施工期間など、対応方法等について検討を進めているところであり、決定次第、速やかに対策を講じる。

6月定例会最終日に追加の議案（補正予算）が出され、中央館の修繕費用が可決されました。工事期間は2ヶ月程度との答弁がありました。

学童クラブについて

質問 4か所の学童クラブが民有地を有償で借り上げている。市有地である学校施設内での運営に切り替える考えについて伺う。

市長 学校施設内等への設置については、小学校や他の公共施設との調整を図り、公共施設再配置構想を策定する中で検討を進めていく。

学校施設について

質問 学校施設の維持・運営にかかる費用は1校当たり、年間どのくらいか。また、学校の適正配置を行い、学校数が減った場合の影響額はどのくらいか。

教育長 令和5年度の決算額の市内小・中学校の平均で1校当たり、年間約4千9百万円である。学校の適正配置を行った場合の影響額については、現時点では具体的な配置が決まっていないので、算出は困難である。

羽村市公共施設等総合管理計画について

質問 実施計画では令和8年度に「公共施設個別再配置計画の作成及び計画に基づく整理統合の実施」とある。また、公共施設等総合管理計画では建築物の総量30％程度の削減を令和27年度までの期間を目標としており、今後10年間の目標は10％程度の総量抑制を目指している。ただし、急激な抑制によりサービス等の質や市民生活などに大きな影響がでることなどを考慮し、財源不足を総量抑制以外の手法で補いながら、目標達成年度は適宜見直していくとしているが、現在の羽村市の財政状況や公共施設の不具合の発生状況を鑑みると、計画を前倒ししていくべきだと思うが、市の考えを伺う。

市長 現在、市の公共施設では、老朽化による不具合が相次いで発生しております。このような状況に加え、財政状況や今後の人口減少なども踏まえると、現状の公共施設をそのまま維持し続けることは困難であると認識しております。こうした認識のもと、1点目でお答えした公共施設等総合管理計画では、公共建築物の総量を30パーセント程度削減する目標を掲げました。この目標達成に向けて着実に取り組んでいくための方策として、現在、「公共施設再配置構想」の策定を進めており、市として危機感を持って取り組んでいるところであります。公共施設の整理統合を実施していく中では、市民サービスに大きな影響が生じないように配慮する必要があります。必要なサービスについては代替策を講じるなど、丁寧な取組が求められます。そうしたことを踏まえ、市民の意見を聴きながら段階的に丁寧に取り組むを進めるとともに、危機感とスピード感を持って整理統合を進めていく考えであります。

施設名称	建築年数	建築年度	敷地所有
中央館	56年	昭和44年	市有地
羽村東小学校	60年	昭和40年	市有地
羽村西小学校	37年	昭和63年	市有地
富士見小学校	56年	昭和44年	市有地
栄小学校	54年	昭和46年	市有地
松林小学校	51年	昭和49年	市有地
小作台小学校	49年	昭和51年	市有地
武蔵野小学校	46年	昭和54年	市有地
羽村第一中学校	61年	昭和39年	市有地
羽村第二中学校	54年	昭和46年	市有地
羽村第三中学校	44年	昭和56年	市有地
スポーツセンター	45年	昭和55年	市有地
コミュニティセンター	41年	昭和59年	市有地

市内公共施設の建築年数と建築年度
(公共施設等総合管理計画を参考に作成)